

革新的医薬品・医療機器の創出

特別重点要求額：102億円

● オールジャパンの支援体制、臨床研究・治験環境等の整備で、革新的医薬品・医療機器を創出し、医療品・医療機器等を効率的・効果的に国民へ還元する。

※高齢者・障がい者や介護現場ニーズに応えるロボット等に計上しているアカデミア創業に必要な予算3億円を加えた特別重点要求額：105億円

医薬品

創薬支援ネットワークの構築

【特別重点要求額2,704百万円】

○概要：アカデミア等の優れた基礎研究の成果を確実に医薬品の実用化につなげるため、厚労省の医薬基盤研究所が中心となって本部の機能を担い、理研と産総研を中心に大学等との研究関係機関で構成する「創薬支援ネットワーク」を構築する。このネットワークでは、「死の谷」と呼ばれる応用研究（特に最適化研究～非臨床試験まで）の段階を中心に切れ目のない実用化支援を行い、企業への導出等を図る。



アカデミア創業に必要な専門人材の拡充

【特別重点要求額100百万円】

○概要：アカデミア創業に必要な専門人材の拡充（創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業）及び霊長類モデル動物の普及体制の整備（遺伝子改変マーマセットによる創薬開発等の加速のための体制整備：脳科学戦略推進プログラム）を行う。

次世代がん研究戦略プロジェクト

【特別重点要求額3,462百万円】

○概要：次世代のがん医療の確立に向けて、革新的な基礎研究の成果を厳選し、診断・治療薬の治験等に利用可能な化合物等の研究を推進する。

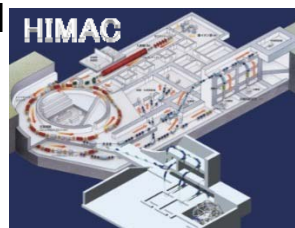
医療機器

日本発の重粒子線がん治療の高度化・海外展開

【特別重点要求額2,546百万円※】

○概要：放射線医学総合研究所が世界をリードする重粒子線がん治療について、治療技術及び装置の高度化・海外展開のための研究開発を推進する。

※運営費交付金の内数を含むため推計値



非侵襲測定による診断技術など先端計測分析技術・機器の開発

【特別重点要求額556百万円(新規)】

○概要：非侵襲測定、簡便化、低コスト化を可能とする革新的診断技術・機器や、ターゲット解明のために必要となる革新的計測分析技術・機器等を開発する。



環境整備

橋渡し研究加速ネットワークプログラム

【特別重点要求額800百万円】

○概要：実用化が見込まれる有望な基礎研究の成果を臨床へとつなげるための橋渡し研究支援拠点の活動を更に充実・強化するとともに、拠点間のネットワーク化を促進する。

橋渡し研究加速
ネットワーク

